

令和4年度  
赤穂市立赤穂中学校  
「学校だより」

# 荒神台

NO.107

令和4年12月1日発行  
文責 校長（猪谷 和寛）

## みえないもの

11月11日に文化祭を実施することが出来ました。3年ぶりに全学年が合唱に取り組み、発表することができました。仲間と共に一生懸命歌う姿が印象に残りました。本番ではみえなかったけれど、それまで各クラスで色々なことがあったと思います。この「みえないもの」について書かれていた新聞記事を紹介します。



米国にニューヨーク・サンという新聞社があった。1897年の9月21日付紙面に一風変わった社説を載せた。そのてんまつである。

8歳の女の子から社へ手紙が届いた。「サンタクロースなんていない」と友だちが言う。「本当？」と。

社説で返事を書くことになり、58歳の記者が担当した。

「あなたのお友だちは、まちがっています。」と書き始め、何でも疑ってしまう人は「目に見えることしか信じません」と続けた。そして

「サンタクロースをみた人はいません。けれどもそれはサンタクロースがないというしょうめいにはならなのです」

「この世の中に、愛や、人へのおもいやりや、まごころがあるのとおなじように、サンタクロースもたしかにいます」

「この世界でいちばんたしかなこと、それは、子どもの目にも、おとなの目にも、みえないものなのですから」

以上、この社説の話を取り上げた児童書「サンタクロースっているんでしょうか？」（偕成社）から。手にした本は86版。



超ロングセラーである。

読み返しながら、思う。

いたわり、やさしさ、励まし。コロナ禍で大切にしたいことも、見えたり触ったりできるものではない、と。

本の後書きによると、少女は後に教師になり、入院生活を送る子どもたちの公立学校で副校長を務めた。81歳で亡くなったとき、ニューヨーク・タイムズは訃報を載せたそうだ。

「もっとも有名な社説が書かれるきっかけとなった、かつての少女」

と書き添えて。

（神戸新聞 日々小論より）



合唱を通して結ばれた心の絆は「みえないもの」です。でも、これが学校をよりよいものにしてしようとする原動力になるのではないのでしょうか。2学期も最後まで頑張っていきましょう。

## 学校生活の様子



＜文化祭＞

生徒会

オーブ・コング



全校合唱発表会



トライやる  
新聞見学



吹奏楽部  
の演奏

### <トライやるウィーク>



赤穂警察



平林建築工房



赤穂保育所



キムラカメラ  
スタジオ

事業所の皆さんありがとうございました。

### 赤い羽根共同募金

合計 13,918円

ご協力ありがとうございました！

## 表彰と記録

### ソフトテニス

赤穂市中学生学年別ソフトテニス大会

女子2年 1位 豆崎 夢恩、豆崎 利恩

1年 1位 亀井 愛音、浜中 更紗

3位 中西 杏、西森 咲代

県中学生ソフトテニス新進大会

女子団体 2位

県中学校新人ソフトテニス大会

女子 5位 豆崎 夢恩、豆崎 利恩



### 野球部 赤穂トラストホフ 球場 11/19

自治労カップ野球大会 赤穂予選会

1位

### 陸上部 城南緑地公園 11/13

赤穂シマラン 中学生男子の部 (3キロ)

2位 丸本 健心



### 人権標語

優良賞 敦賀 菜都

### 赤穂市福祉作文コンクール

大賞 川畑 湧士

### 全国中学生人権作文コンテスト (西播磨地区予選)

最優秀賞 有田 唯楓

### 12月の教育行事



12/ 3~4 県新人柔道大会

7 (水) 義士学習

11 (日) 赤十字社研修大会 (赤穂地区体育館)

13 (火) 生徒会立会演説会・選挙

14 (水) 義士祭 (休業日)

15~20 個別面談

15~16 3年生習熟度テスト

21 (水) 給食最終日

22 (木) 大掃除、午前中授業

23 (金) 終業式

1/10 (火) 始業式、中間、課題テスト(弁当)



